

かさほら 宮代町立笠原小学校

米作り体験



全学年

特色

- 2・5年生が学校に隣接する「ほっつけ田」でもち米作りを行う。収穫した米は、笠原まつりで全校児童が餅つきをする。
- 稲刈り後、乾燥させ、脱穀後にわらを保管する。地域の方の指導のもと5年生は、正月飾りづくりを行う。また、6年生は、草履作りを行い、修学旅行で草履を履いて、箱根杉並木を大名行列する。

児童の感想

- この体験を通して米作りの大変さが分かり、これからは残さずに食べようと思った。
- 修学旅行では、大名行列を行い、わらじ作りを通してたくさんの方にお世話になっていることが分かり、感謝の気持ちでいっぱいになった。

成果

- 本校では、豊かな自然環境を生かした活動を積極的に行っている。田植え、稲刈り、脱穀、餅つき等の一連の体験活動を通して、自然を大切にする心や働くことの意義を理解するとともに、地域の方々への感謝の気持ちをもつことができた。
- 毎年繰り返し行うことで児童や保護者の行事に対する意欲が高まってきている。笠原小学校のよい伝統行事として今後も続けていきたい。